

出席帳 (卒業研究用)

# 提出された出席帳は「卒業研究」の評価対象である

2024年度 4 月分

色枠内を記入し、毎月末、指導教員へメール提出すること。提出物は指導教員が保管する

提出日: 2024/4/30  
 学籍番号: AH12345  
 氏名: 豊洲どぼ子  
 所属: 中川 研究室

**従事時間・在室時間の定義および記入上の注意事項**  
 1) 「従事時間」には、卒業研究に要した学修時間と作業時間を記入する  
 2) 卒業研究に直接関係のない勉強（就活関連、入試勉強）は「従事時間」に算入できない  
 3) SAに従事した時間は「従事時間」に算入できないが、実施内容にSA実施内容を記載できる  
 4) 入力は事実ベースでの自己申告とする  
 5) 「在室時間」は研究室在室時間を記入する。在宅・学外の場合は「在室時間」を0とし、実施内容に詳細を記載すること  
 6) 指導教員が不適切とした内容は、従事時間・在室時間に算入しない

学修日数: 15 日  
 学修時間: 63.0 H

「学修日数」「学修時間」は自動計算される

日	従事時間[H]	在室時間[H]	実施内容
1			
2	3.5	5.0	コンクリートに関する論文を読んだ
3	5.0	7.0	実験室で実験データ取得
4	3.0	4.0	実験データ整理
5	4.0	6.0	実験データ可視化のプログラミング
6			
7			
8	5.5	0.0	(在宅)ゼミ資料作成
9			
10			
11			
12			
13	0.0	9.0	測量実習SA
14	8.0	9.0	防災に関する論文を読んだ
15			
16	4.0	0.0	13時から土木シンポジウム参加
17			
18			
19	8.0	0.0	北海道で熊の計測
20	8.0	0.0	北海道で熊の計測
21			
22			
23	4.0	6.0	都市環境に関する論文を読んだ
24	0.0	8.0	Youtubeを見すぎて、気づいたら研究してなかった
25			
26			
27	3.5	4.0	ゼミ資料作成
28	6.0	8.0	ゼミ
29	0.5	12.0	研究室飲み会
30			
31			

研究室での学修の記載例

在宅での学修の記載例

学内の教育的アルバイトであっても  
も従事時間に含めない

学外での学修の記載例

学外での実験の記載例

事実ベースで記入する

飲み会の時間は従事時間に算入しない

入力時間から、1か月分の計算するので、空欄を削除しない

今月の自己点検

1) 指導教員に報告・連絡・相談した内容の自己評価

100 点

100点満点で採点する

一文ずつ記入する

2) 自己作業進捗 実験で得たデータを整理し、発表資料としてまとめました。全体的な作業進捗は3割程度です。

3) 教員指導 先生から精度検証と汗の量が不足していると指摘されました。

4) 今後の改善 来月は精度検証に関する実験を追加します。